

# 紫峰会報



筑波大学開学30周年創基131年)

第86号

2003年7月2日発行

編集・発行 紫峰会[筑波大学学生後援会] 〒305-0005 茨城県つくば市天久保3-10-7学園都市ビル3F Tel 029-852-8572



がんばって完成させた御輿を担いでいざ出陣!

## 一祭合祭！やどかり祭開催

第29回筑波大学宿舍祭（通称やどかり祭）が、5月30日（金）と6月1日（日）に、平砂学生宿舍駐車場をメイン会場に開催された。30日の前夜祭は祭実行委員による太鼓囃子合図に始まった。パレードでは、仮装したサークルや徳島県人会による阿波踊りなど様々なパフォーマンスを繰り上げながら宿舍のベデストリアンを練り歩いた。やがて提灯や灯籠に明かりが灯り、模擬店やビアガーデンもオープンし、多くの観客が集まる中、メイン会場のステージのライブで盛り上がりとともに前夜祭の夜が更けていった。



奨助金目録が田中実行委員長に贈呈された

台風接近による雨天のため翌6月1日に順延となった本祭であったが、前日の雨も何とかあがり、正午からのオープニングステージで幕を開けた。恒例の御輿の練り歩きは、午後3時15分に松見公園を皮切りにスタート。学類や団体などの学生による全て手作りの御輿であるが、出場した13基の御輿の中でも芸術専門学群の御輿は独特の雰囲気を持ち注目を集めた。

ゆかたコンテストは、今年度から仲間入りした図書館情報専門学群や初出場の体育専門学群を含め史上最多の17学類・専門学群がエントリーし、ゆかたコン嬢の美しさ、浴衣の着こなし、パフォーマンスなどを競ってコンテストなどが行われた。優勝した体育専門学群のステージでは、取り巻きバ

フォーマーたちの連続バック転で観客の度肝を抜くと、今井美保さんが、小学校時代から習っていたというダンスの技術を活かし華麗な演技とはつらつとした笑顔で観客を魅了した。

そして夜9時、田中委員長の「それ行くぞ」のかけ声と共に「やどかり音頭」をみんなで踊り、祭が締めくくられた。（取材/川本翠 芸サ連広報局長・比文2年）



ゆかたコンテストにおけるパフォーマンス

## 今後の主な予定

夏期休業	7 / 2 ~ 8 / 31
1学期末卒業式	7 / 25
2学期入学式	8 / 8
2学期開始	9 / 1
筑波大学開学30周年記念式典	10 / 1

第29回筑波大学学園祭	10 / 11 ~ 13
秋季スポーツ・デー	10 / 25・26
後期授業料納付期限	10 / 31
2学期末試験	11 / 17 ~ 25
秋季休業	11 / 26 ~ 30

## Campus News

### 田中耕一客員教授特別講義

5月15日(木)、大学会館講堂にて、田中耕一客員教授の特別講義「ソフトレーザ脱離イオン化法の起源と発展」が行われた。11時の開始を前に早くも10時過ぎから会館内に収まりきれない行列ができ、講堂内は二階席まで満席で、立ち見する人が間を埋めた。田中教授が壇上に登場すると、一斉に拍手と歓声が沸き起こった。“癒し系”ノーベル賞受賞者の人気ぶりはまだまだ健在だ。最初に北原学長が挨拶をしたあと、質量分析学とはなにか、私たちの生活にどのように生かされているのかという話から始まり、偶然の失敗からノーベル賞を受賞するまでの道のりが、専門的な内容を含みながらも分かりやすく述べられた。

もともと田中教授は科学の専門家ではなく、島津製作所の一社員でしかなかった。しかしそれゆえに、多少のミスも許されたこと、そして当時の科学界の常識を打ち破る姿勢があったこと、そして今回ノーベル賞を受賞できたけれども、仲間の研究者がいなければ今の成功はありえなかったことなど、謙虚ながらも正直なおもいを学生たちに伝えた。そして最後に、「自分自身を評価し、長所を見つけることが自分の可能性を伸ばすことにつながる」と述べ公演を締めくくった。たとえ欠点を見つけても、他人から見れば長所にも変わることもあるという前向きなメッセージは多くの学生に大きな勇気を与えたことだろう。(取材/芸サ連広報局員 滝沢藍子・人間2年)

### 春季スポーツ・デー開催

5月24日、25日に、第27回春季スポーツ・デーが開催された。今回は、3年ぶりに両日晴天のもとで開催することができ、延べ7000人の参加者が二日間にわたって汗を流した。

初日に陸上競技場で行われた開会式では、本部長である北原学長をはじめ、5人の副学長が全員が参加するなど、学内あげてのものとなった。また、



スポーツフィールドの綱引き決勝戦の様子選手宣誓の後、少林寺拳法部の演武やダンス部のパフォーマンスや応援団桐葉によるデモンストレーションが行われ、参加者を元気づけた。

正式種目ではソフトボール・バスケットボール・ハンドボール・テニス・オリエンテーリング・ドッジボールに加え、参加しやすさを考慮し新競技としてソフトバレーが行われた。ソフトバレーでは、4人1チームで、通常のバレーボールより大きくて柔らかいボールを使うため、バレーボールの経験者・初心者問わず独特の軌跡を描くボールを追いかけて楽しんだ。

陸上競技場では、当日エントリー中心のSports Fieldが行われ、つなひきや雪合戦やフリスビーサッカーなどのユニークなスポーツを参加者が気軽に楽しんだ。

サークル企画では、筑波大アメリカンフットボール部による「つくばBOWL」や、アーチェリー部・ライフル射撃部による試射会や、体育会所属サークルの公開練習が行われた。

今回の春季スポーツ・デーでは特に大きなケガもなく円滑に進められたと思う。10月の秋季スポーツ・デーにむけ約200名のスポーツ・デー学生委員及び体育会執行委員など共々盛り上げていきたいと思う。(取材/体育会広報局長 永浜陽介・人文3年)

### 硬式野球応援バスツアー体験記

5月10日の日曜日に、体育会と応援団桐葉の共催による硬式野球部応援バスツアーが行われた。朝7時半、出発場所である南駐車場に眠たい目をこすりながら集合した。バスに乗り込む前に出発式があり、応援団桐葉の元気いっぱいのエールで目を覚まし、川崎市にある等々力球場へと向かった。バスの中では、硬式野球部員による試合

の見所の説明の後、応援団員による応援方法の説明・応援練習が行われた。「Go・Goつくば」などの様々な場面のための応援練習で声を上げた後は、応援団員による演芸などで盛り上がるうちに、球場に到着した。そして会場である等々力球場のスタンドに着くとメガホンを持って応援する体勢を整え、試合開始を待った。



「Go・Goつくば!!」応援にも熱が入る

そして、筑波大と日本体育大学の試合が始まった。筑波大は一回で4点を先制し、筑波大の応援席は一気にヒートアップした。筑波大の攻撃の度に、応援団桐葉の団員が頭に水をかぶるなどの気合の入ったパフォーマンスで盛り上げ、みなさらに熱くなった。筑波大は先制するものの、中盤ではフォアボールやエラーなどで得点圏にランナー背負うなど、何度もピンチを招いた。しかし、我々の熱い声援が届いたのか、植山ら4人の継投でなんとかピンチを切り抜け、4-2で日本体育大学に勝利した。

そして試合の興奮も冷めやらぬまま帰りのバスに乗り込んだ。初めて生で見た試合の迫力、勝利の喜びなどを思い返しなが、爽快な気分で帰路についた。(取材/体育会広報局長 永浜陽介・人文3年)

### 第19回つくば芸術祭開催

4月26日(土)から5月5日(月・祝)にかけて、第19回つくば芸術祭が開催された。筑波大や図書館情報大学のサークル17団体に加えて、土浦を中心に活動するオカリナ・蔵と、「すべての人に音楽を」をモットーに、牛久を拠点に活動する音楽企画団体ミュージック・ファクトリーを招き、総勢19団体が参加した。第19回つくば芸術祭に19団体が参加するとは、不思議な一致である。

新緑茶会・アカペラコンサート・ラ

イブ・応援団による演舞・落語・クラシックコンサート・オカリナコンサート・書展・おはなし会・人形劇・能・狂言といった、例年通りの諸企画に加えて、アンサンブルステージ、そして、今回の目玉企画である合同ステージが行われた。

合同ステージは、4月27日(日)正午頃にスタート。有志で集まった筑波大生とミュージック・ファクトリーが、共につくばセンタークレオ前広場に集結し、幅広いジャンルのエンターテインメントを繰り広げた。金管楽器にギター、三味線まで登場し、ロックをやったかと思うと今度は演歌。縦横無尽に音楽が飛び交うステージに、多くの観客が釘付けになった。アンサンブルステージは、4月29日(火・祝)、アルスホールにて、午後6時に開演した。まったく異なる音楽分野のサークルからの出演者による様々なセッションが繰り広げられた。ヴォーカルによるセッションや琴とマリンバのセッ



アカペラサークルによる素敵なハーモニー

ション、出演者が音楽の合間に楽しいトークを繰り広げるなど趣向を凝らしたステージが観客を魅了した。

天候にも恵まれ、観客もたくさん入った。各企画の完成度は高く、大成功を納めたと思う。(取材/川本翠 芸サ連広報局長・比文2年)

## 全代会合宿・研修会報告

去る4月26・27日、全学学類・専門学群代表者会議(以下:全代会)は白浜少年自然の家にて合宿を行いました。前年度の全代会構成員が中心となり、4月30日に行われる第一回本会議に向けて、新しく選出された構成員に引き継ぎを行いました。一日目は全代会の組織説明をしたり、ビジネスゲームを通じてリーダーシップのあり方について学び、その後各委員会に分かれて引き継ぎ及び今年度の方針について話し合いました。二日目には委員会別研修の報告会を開き、公式書類の書き方や名刺の交換などのマナーについて学びました。この合宿は今年度初の試みでしたが、第1回本会議での構成員のモチベーションを高めることができましたと思います。

また、5月17・18日には、全代会研修会が催されました。この研修会では、全代会と各学類のクラス代表者会

議(以下:クラ代会)の座長団を招いて行いました。全代会の活動においてクラ代会の活動が活性化しなければうまくいかない点などが多数あります。それを補うことがこの研修会の最大の目的でした。研修内容としては一日目にクラ代会構成員を中心にリーダーシップのあり方についてビジネスゲームを行いました。その後、宿舎問題や食堂の問題といった身近なテーマを用いてブレインストーミングとKJ法を用い討論を行いました。二日目にはクラ代会と全代会はどう関わっていけるのか、ということを中心にミーティングを行いました。全代会とクラ代会の役割についてお互いに理解を深め合うとともに、相互に人的な交流を深める事ができ、大変有意義な研修会となりました。また両研修会開催にあたり、紫峰会より多大なる援助を頂きましたことを感謝しています。(寄稿/全学学類・専門学群代表者会議議長 重住賢一/人文3年)



活発な意見が交わされたブレインストーミング

## 学生相談室から

受付窓口 029-853-2415  
電話相談 029-853-2406

### 「散歩のススメ」

鈴木久美子(心理学系)

まだランドセルをしょっていた頃のこと。ひとりでどこかに行くときにはいつも駆け足していた自分を思い出します。友達の家遊びに行くとき、習い事に行くとき、「あそこの電柱までダッシュ」その電柱に辿り着くと「よし、それじゃその次の電柱まで」、「あそこの信号まで」と小さなゴールを設定しては目的地に向かって猛ダッシュ。遅刻ギリギリであったからではありません。

なぜだか「ひとりのときは走るもんだ、歩くなんてもったいない」と感じ

ていたのです。ある日、目的地が遠かったこともあって、試しに「歩いてみようかな」と思いつき、歩調を緩めてみました。その瞬間、「ああ、歩いてもいいんだ」と不思議な感覚が全身を駆けめぐったことを今でもハッキリと覚えています。

私は今でも寄り道、道草があまり得意な方ではないようです。そう感じるのは、目的地が決まっていると、どうしてもそこから逆算して最短距離・最短時間で辿り着きたくなる気持ちが起るからです。かといって、いつもそんなに効率よく辿り着けるわけでもなく、足留めを食ったと感ずることあり、図らずも道を見失い袋小路に迷い込んでしまうことありで思うようにいきません。そういう状況下であって、イライラして焦っている自分を感じる時、かつての記憶がフツと頭をよぎ

るのです。

そんな私ですが、近頃ではこれといったゴールを定めずにただ何となく家の近所を散策する「散歩」に楽しみを覚え始めています。いつも自分が当たり前のように行き来している通りの一本向こう側に広がる景色は、前からそこにあっただけなのに、私にとっては今まさに誕生したかのような新鮮さをもって私を迎えてくれるのです。足元のコンクリートのひび割れから草が生えていることに気がついたり、鳥のさえずりをBGMに遠くの筑波山に目をやったり、陽射しの強さにぐったりし始めた自分を感じたり。生きていると思うようにいかないことはしばしば起こりますが、疲れたら歩いてもいい、道に迷ったら迷ったでいいのかもしれない。迷いながら歩きながらでしか味わえない風景もあるようですから。

就職特集

平成14年度の  
卒業生進路状況

学生部就職課

平成14年度の学群卒業生数は、昨年度より25名少ない2,038名です。このうち、約37%が就職、42%が大学院への進学、5%が臨床研修医、1%が職務復帰・帰国、2%が研究生・留学等、14%がその他（アルバイト、ボランティア、資格試験・進学準備等）でした。平成13年度との比較では、昨年度に引き続き、企業への就職者が減り、進学者が増えている状況があります。詳細は、次頁の「平成14年度卒業・修了者の進路状況」と下表の「採用企業ランキング」を参照してください。また、今年の医師国家試験については、合格率ランキング全国12位（94.3%）となり、常に高い合格率を維持しています。筑波大学では、就職委員会や国立大学では類を見ない就職支援専門部署の就職課を中心に、学生の希望に応じた就職ができるよう、企業等への積極的な就職開拓及び広報活動、教育委員会・人事委員会への訪問による情報収集、就職ガイダンス・模擬試験等を実施しており、就職課に「就職資料室」を設置し、各種資料や情報を提供するとともに、近年、インターネットによる企業の採用活動や、学生の就職活動に対応した筑波大学独自の就職専用ホームページ「筑波大学

就職情報提供システム」(http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp)を運営しています。また、就職課では、就職相談室を設け、年間を通じて、いつでも学生の就職相談に応じています。就職動向について(企業・団体)

労働経済動向調査(平成15年5月)によると、平成16年新規学卒者の採用予定者数を平成15年の採用者数と比較した結果が別表のとおり公表されました。増加するとした事業所の割合が多く採用環境の改善がされているように見受けられますが、企業側の採用傾向は、人物重視を強調しており、採用方針に合わない場合は、採用予定数まで内定をださない企業もあります。また未定とする割合も依然多く見受けられ、就職に関してはまだまだ不安定で厳しい状況にあると考えられます。

そこで本学では、6月の就職活動オリエンテーションを皮切りに就職活動の流れ・自己分析・面接対策等の各種ガイダンスや企業研究のためのOB・OG懇談会の開催、さらに低学年からの就職ガイダンスを実施し、学生が段階的に「就職」への意識・活動を高められるような支援対策を実施しています。

就職動向について(教員・公務員)

平成15年度公立学校教員採用試験は、7月上旬から、公務員採用試験は、国家I種が5月上旬、国家II種、地方上級は、6月下旬に予定されています。平成14年度の卒業生で教員に

なった者は、就職者の約9.3%であり、昨年度に比して若干増加しています。また、教科のばらつきはあるものの、小・中学校の少子化などにより相変わらず厳しい状況となっています。また、公務員になった者は、就職者の約12%であり、昨年度より増加しています。公務員についても、国・地方自治体の行政改革・財政構造改革の推進にともない、採用数の減少傾向は今後も続くと思われます。就職課では、この厳しい厳選採用に対応すべく教員及び公務員の就職ガイダンス、並びに模擬試験をそれぞれ年数回実施し、学生に参加を呼びかけています。

【就職課連絡先】

就職相談

029-853-2234

企業・団体関係

029-853-2256・6091

教員・公務員関係

029-853-2249

本学学生採用企業ランキング

順位	企業名	(人数)
1	日本電気株式会社	(13人)
2	日本アイ・ビー・エム株式会社	(11人)
3	株式会社日立製作所	(10人)
4	ソニー株式会社	(9人)
5	キヤノン株式会社	(8人)
	東日本旅客鉄道株式会社	(8人)
	本田技研工業	(8人)
8	特殊法人理化学研究所	(7人)
9	アクセンチュア	(6人)
	株式会社NTTデータ三洋システム	(6人)
	株式会社デンソー	(6人)
	日産自動車株式会社	(6人)
	日本放送協会	(6人)
14	産業技術総合研究所	(5人)
	新日鉄ソリューションズ株式会社	(5人)
	セコム株式会社	(5人)
	株式会社東芝	(5人)
18	株式会社ジェイティーピー	(4人)
	大和証券株式会社	(4人)
	大和ハウス工業株式会社	(4人)
	日本原子力研究所	(4人)
	日本情報産業株式会社	(4人)
	富士通株式会社	(4人)
	株式会社ブリジストン	(4人)
	株式会社ペルーナ	(4人)
	三菱自動車工業株式会社	(4人)

平成15年度新規学卒採用予定者の増減別事業所割合(%)

産業	増加	ほぼ同じ	減少	未定	
建設業	12(6)	17(19)	11(21)	60(55)	
製造業	10(8)	32(27)	9(16)	49(50)	
文科系	運輸・通信業	5(4)	18(24)	6(8)	71(64)
	卸売・小売業、飲食店	13(14)	29(31)	9(11)	49(44)
	金融・保険業	6(8)	33(38)	13(9)	48(45)
	不動産業	14(4)	34(25)	16(18)	35(42)
	サービス業	11(13)	25(31)	13(12)	52(44)
建設業	14(11)	21(22)	12(19)	52(48)	
製造業	14(10)	33(30)	10(16)	43(44)	
理科系	運輸・通信業	5(3)	15(20)	5(5)	75(72)
	卸売・小売業、飲食店	10(10)	25(27)	6(7)	59(55)
	金融・保険業	4(4)	29(32)	8(7)	59(57)
	不動産業	11(8)	36(30)	10(11)	43(51)
	サービス業	12(13)	23(32)	11(11)	54(44)

注1( )は前年同期の数値である。2文科系、理科系は大学院を含む。

## 平成14年度 卒業生・修了者の進路状況

[筑波大学学群・大学院]

(平成15年5月1日現在)

学部・学群 研究科	項目	修了 卒業生	就職 者	(就職者の内訳)			研 修 院	進 学 者	職 業 研 究 員	留 学 生	研 究 員 等	研 究 員 等	そ の 他	
				企業	公務員	公務員								
第 一 学 群	人文学部	117(67)	50(55)	46(25)	9(4)	7(5)		25(12)			5(1)		29(17)	
	社会学部	116(61)	53(30)	49(28)		4(2)		27(12)			5(2)		36(17)	
	自然科学部	200(44)	55(21)	48(18)	5(5)	9(9)		132(29)			5(1)		16(7)	
第 二 学 群	比較文化学群	388(63)	49(32)	41(31)	9(3)	9(3)		17(3)			1(1)		21(3)	
	日本語・日本文化学群	65(53)	39(32)	20(23)	5(4)	8(5)		9(9)	1(1)				16(12)	
	人間学群	138(97)	84(92)	39(24)	7(4)	8(4)		33(26)	1(1)		8(4)		26(14)	
	生物工学部	90(58)	19(7)	11(6)	1(0)	1(1)		63(27)			1(0)		3(1)	
	生物資源学群	153(74)	51(28)	43(27)		8(1)		79(30)	1(1)		4(1)		18(7)	
第 三 学 群	社会工学群	143(71)	64(33)	58(30)		6(2)		49(11)			1(0)		12(2)	
	情報総合学群	102(52)	66(33)	61(28)		5(3)		15(7)	1(1)				21(11)	
	情報学群	95(4)	22(5)	19(5)		1(0)		5(2)					6(1)	
	工学システム学群	147(15)	22(4)	22(4)				120(10)			1(0)		4(1)	
	工学基礎学群	146(7)	29(2)	26(2)				104(5)					7(0)	
医学専門学群	101(35)						99(25)						2(0)	
体育専門学群	246(61)	129(38)	73(21)	38(12)	16(5)		55(8)				8(0)		54(15)	
芸術専門学群	104(71)	86(28)	21(26)	1(1)	2(1)		22(7)				8(6)		28(18)	
学群合計		3180(742)	752(500)	695(286)	70(31)	67(35)	99(35)	955(217)	4(4)		38(16)		290(141)	
博 士 課 程	地域研究研究科	32(32)	23(14)	11(7)	7(5)	5(2)		10(5)	7(5)		3(2)		16(5)	
	教育研究科	164(90)	78(41)	33(7)	58(29)	7(5)		8(0)	62(33)		7(4)		9(6)	
	経営政策科学研究科	19(11)	23(2)	21(2)		2(0)		6(1)	18(2)		1(0)		7(1)	
	理工学研究科	210(22)	176(16)	176(14)	2(1)	4(1)		15(1)	6(3)		3(1)		10(1)	
	薬学科学研究科	91(31)	59(15)	43(13)	3(2)	9(1)		13(6)	4(3)		3(2)		13(4)	
	バイオシステム研究科	85(33)	58(24)	53(28)	3(2)			15(4)	3(2)		4(1)		5(2)	
	医科学研究科	49(22)	18(8)	17(8)	1(1)			1(0)	23(12)		2(2)		1(1)	3(0)
	体育研究科	108(32)	59(15)	23(3)	53(9)	6(3)		13(1)	10(5)		3(4)		71(7)	
	芸術研究科	55(24)	25(10)	16(6)	7(4)			5(1)	4(2)		2(2)		23(11)	
ビジネス科学研究科	55(12)	1(0)	1(0)					54(10)					2(2)	
修士課程合計		924(314)	515(148)	368(64)	113(57)	33(13)	1(0)	98(37)	172(69)		32(17)		105(42)	
博士課程合計		346(75)	69(30)	42(12)	27(7)	30(10)	7(3)	1(1)	36(13)		9(3)		11(3)	
大学院合計		1170(389)	614(178)	410(76)	140(64)	63(23)	8(3)	109(38)	208(82)		41(20)		116(45)	

(詳細は別紙へ)

[筑波大学医療技術短期大学部]

学部	項目	卒業 生	就職 者	(就職者の内訳)		進 学 者	そ の 他
				筑波大学 短大・専攻	その他の 短大等		
看護学系		42(42)	64(69)	35(34)	49(49)	18(18)	1(1)
歯科技術学系		35(30)	16(12)		15(12)	9(8)	18(18)

注: ( )は内数で女子を示す

お問い合わせ先  
 学生課就職課 Tel. 029-853-2254  
 Fax. 029-853-2257  
 医学部医学情報課 Tel. 029-853-3412  
 Fax. 029-853-3411

(短期大学課程へ)

## Circle Headline

### トライアスロンクラブ サークル紹介・体育会



全日本学生スプリント選手権を終えて

私たちトライアスロンクラブは、30名ほどの部員がそれぞれの目標に向けて、日々水泳・自転車・ランニング(トライアスロンではスイム・バイク・ランという)の練習をしています。トライアスロンというと、最後に42.195kmを走る過酷な競技のイメージをお持ちの方が多いようですが、ショートやミドルといった様々なクラスがあり、私たちは主にオリンピックで採用されているショート(S1.5km,B40km,R10km)を中心に出場しています。もちろん中には何度もロングのレースを完走している選手もいます。部員は、さまざまなスポーツの経験を持つ者がいますが、大学からこの競技を始めた者ばかりです。しかし新競技であるだけに、最高峰の大会(インカレ・日本選手権など)を狙うことも十分可能であり、それぞれの目標を目指してがんばっています。

今年度はクラブ全体の目標を「インカレ予選全員突破」に据え、チーム一丸となってトレーニングをしています。9月に行われるインカレに向けて、8月には強化合宿を行い、それぞれの競技力にますます磨きをかけていきたいと思っています。また、夏はまさにトライアスロンのシーズンでもあり、全国で開かれる数多くの地域主催のレースの中から各自が選んで転戦し、競技力向上とともに、トライアスロンを楽しんでいくつもりです。

トライアスロンは、地域の人々の声援を受け、自分との戦いのうちにゴールをめざす醍醐味、エアロビクス効果の高い3種目のフィットネス性、そして新しいチャンピオンスポーツへの夢

といった魅力がいっぱいの競技です。競技人口の大半は中高年でありますので、夏に全国各地で開催されるトライアスロン大会の会場に一度足を運んで、観戦してみたいかがでしょう。私たち筑波大の部員もそれぞれの地元レースなどに、上位を狙って参加しておりますので、筑波大の学生を見かけた時には、ご声援をお願いいたします。(寄稿/トアイアスロンクラブ主務 渡辺睦美・比文3年)

### 日本学生選手権に向けて 水泳部・体育会

先日の4月22~27日、日本選手権が東京の辰巳国際水泳場で行われました。この大会は7月にスペインで行われる世界選手権の選考会を兼ねており、我が筑波大学からも多くの学生・OB・OGが出場し各種目で上位に食い込みました。その中でも男子背泳ぎでの錦織篤(H13卒)同バタフライで4年の高安亮(体育4年)女子自由形で永井奉子(体育4年)同バタフライで大西順子(H9卒)が世界選手権への切符を勝ち取りました。特に錦織篤は男子100M背泳ぎでは準優勝だったものの、準決勝でこれまでの日本記録0.51秒上回る54.54秒の日本新記録を樹立しました。世界選手権組は6月からすでにヨーロッパを中心にした2ヵ月間の強化合宿に入っており、現地でのいくつかの大会を経て世界選手権に臨むスケジュールとなっております。世界選手権はテレビでも放映されますのでご声援をお願いします。

また、他の選手は次なる大舞台・日本学生選手権に向けて日々厳しい練習に励んでいます。筑波大学はこれまで優勝の経験がなく、特に男子はここ3年間全て中央大学に次ぐ準優勝と苦い思いをし続けておりますが、競技パフォーマンス向上のため今まで行ってきたトレーニングを見直し、陸上のコーチの指導によるウェイトトレーニングフォームの矯正・コーディネーショントレーニングの導入、栄養面に留意した食事会の実施など様々な取り組みを行い、インカレで初の栄冠を勝ち取るべく、頑張っております。日本学生選手権は9月5~7日の3日間に

わたって東京辰巳国際水泳場で行われますが、ぜひとも皆様にも足を運んでいただければ幸いです。世界選手権、日本学生選手権共に、筑波大学の活躍をご期待下さい。(寄稿/水泳部 五十嵐敬・体育3年)

### 医学硬式庭球部

#### サークル紹介・体育会医学支部



体専コートでボレーの練習風景

こんにちは。医学硬式テニス部は、医学類と医療短大の学生を中心に構成されるテニスクラブです。主な大会としては関東医科歯科リーグの春の団体戦と秋の個人戦、そして夏休み中の東日本医科学生総合体育大会と看護学生テニス大会です。練習は週3回ですが、みんな練習のない日もコートに来て自主的に練習をしています。いつ行ってもコートサイドの階段には誰かがいて、そのため少しでも暇な時間があれば顔を出して他の部員とのトークを楽しむ人が多いのも特徴です。

部員の中には経験者だけでなく初心者も多く、強くなることを目標に練習している人から、部活での人間関係を楽しみに来ている人まで、「テニスを楽しみたい!」という共通の考えのもとに部員一同が集まっています。

いろんな個性の人が集まっているためテニスコート外での活動も盛んです。夏は川や海、冬はスキーへ行き、ソフトボールやサッカー大会なども行って汗を流しています。他にもラーメンツアー、餃子ツアー、釣りツアーなども行うなど様々なイベントを楽しんでいます。部内ではそれぞれのイベントは「~支部」と呼ばれ親しまれています。無論体育会ですからテニスの練習も気合いが入っています。近年では団体の成績も良く、今年は男女ともに1部リーグの団体戦で優勝を狙って戦っています。部内のレギュラー争いも熾烈で、お互いよきライバルとしてのしごを削っています。

医学硬式テニス部はこのように体育会の部活の「熱血さ」と、サークルのような「ほのぼの」とした雰囲気の共存した団体で、誰にとっても居心地のよい環境となることを目指しています。夏休みの練習を通して、最大の目標である東日本医科学生総合体育大会に向けて、テニスの腕前も、部としての団結力も向上させていきたいと思えます。(寄稿/医学硬式庭球部主将 塩澤知之・医学4年)

## フライヤーズクラブアイオロス サークル紹介・文サ連



見晴らしの良い筑波山からのフライト

私たちは空を自由に飛びたいと願った学生たちの集まりです。飛ぶといっても実際どのように飛んでいるのでしょうか？私達はハンググライダー、パラグライダーを使いますが、それらがどのくらい飛べるのかご存じでしょうか？高度2000mくらいはよくある話。天候によりますが、時間に関しては飽きもせず5～6時間くらい飛んでいる人もいます。速度はハングの上級機なら120km/hくらいは出ます。距離も、40km、50km飛んでいく人もいます。回収が大変なのは言うまでもありません。

実は我がアイオロス、文サ連に入ったのは最近ですが、過去には大会にて学生チャンピオンを大量に輩出してきた優秀サークルです。飛ぶためのエリア、筑波山に近いというのも大きなアドバンテージになっています。

サークル活動を思う存分楽しむといたことは時間のある学生時代にしかできないことかもしれません。お金はかかりますが、空を飛ぶためなら...とみんなバイトに精を出しております。移動に車は必須なのでそのための保険や車検などの経費もかかり、車の管理も怠れません。時間もお金もかかりますが、エリアには社会人も多いのでさ

まざまな交流も広がります。卒業生の追出しコンパなどにも毎年エリアの社長さんも顔を出して下さいます。

このように多くの方々の協力を得ながら自己を磨き、我々は空を飛び続けています。(寄稿/フライヤーズクラブ アイオロス代表責任者 小宮大輔・情報3年)

## 旅するココロ。 旅と鉄道の会・文サ連

瓦屋根の大きな屋敷、方言、杜。田植え前の田んぼに姿をうつす大きな山。家々間の細い道にある小さなバス停では、お婆さんが一人降りてゆきます。筑波山へ向かうバスの中から見えたものは、まるでとても遠くへ来たような風物でした。4月中旬、新入生歓迎を兼ねた筑波方面の日帰り旅行は、新入生にとっても思いでに残るものになった様です。



筑波神社への日帰り旅行での一コマ

旅と鉄道の会 - 略して「たびてつ」 - は、旅をします。飛騨の山奥、最果ての根室から筑波山まで、行き先は様々ですが、日常からの脱却が旅の核心だとするならば、どこへ行くのも「旅」と言えましょう。たとえつくば市内であっても、冒頭のごとく感じるものはあるのです。

そんな旅をすることが、みんな好きです。

旅好きの集団である「たびてつ」は、現在会員21名、週1回のミーティングを行っています。旅行は、泊まりがけで年3、4回、その他に日帰り旅行を数回行っていきます。

最近では新歓旅行として日帰りでも房総半島と横浜、東京下町などを訪れました。旅行の成果もあって新入生も増え、賑やかなサークルになりつつあります。

(寄稿/旅と鉄道の会 福田悠介・社工4年)

## 吹奏楽団 サークル紹介・芸サ連

私たち筑波大学吹奏楽団は、春秋2回の定期演奏会を活動の柱とし、多くの幼稚園や保育園などへの訪問演奏や、全日本吹奏楽連盟主催の吹奏楽コンクールにも参加している。さらに3月には新潟演奏旅行と称し、筑波大学石打研修所を拠点に、恒例となった「塩沢のびのびコンサート」「小出郷フェスティバル」の2つの地域密着型のコンサートを開催した。特に今年度は、野呂昶：文・伊藤康英：音楽による「こわれた1000のがつき」の世界初演を行い、吹奏楽情報誌や地元地方紙でも取り上げられた。また5月23日に行われた第49回定期演奏会は、多くの方々に支えられながら、無事成功を収めることができた。

現在は、11月3日に行われる第50回定期演奏会に向けて練習を重ねている。今回は、客演指揮に当団と20年来のお付き合いがある作曲家伊藤康英氏をお迎えしての公演である。第50回定期演奏会記念委嘱作品となる伊藤氏作曲のファンファーレによって始まり、OB・OGを迎えた合同ステージでは「交響曲『時の逝く』」や、「抒情的



最高の演奏をめざし今日も練習

『祭』、「ミスターシンデレラ」など、彼が手がけた名曲を取り上げ、本人の指揮により演奏する。

今回の演奏会は難曲揃い。6月上旬現在、楽譜を渡され「なんじゃこりゃあ」「まじかよ～」という団員の悲鳴が方々から聞こえている。とはいえ、演奏会当日は筑波大学吹奏楽団にしかできない最高の演奏をお聴かせする事をここで約束したい。3年生はこの演奏会をもって引退することになるわけだ。今までの吹奏楽人生のすべてをかけた音楽を、ぜひ皆様と一緒に会場で共有したい。(寄稿/第25期団長 坂本崇樹・人間3年)

筑波大学開学30周年(創基131年)記念募金寄付芳名録

筑波大学開学30周年記念募金にご協力を賜り、誠にありがとうございます。これまで紫峰会を通じて募金をいただいた方々の芳名を掲載させていただきました。5月17日以降に募金いただきました方々につきましても、今後の紫峰会報紙面にてご芳名を掲載させて頂く予定です。

(平成14年7月1日～平成15年5月16日、敬称略50音順)

相澤 信行	飯高 洪男	伊東 孝司	梅田 政人	奥岡 義雄
相澤 陽一	飯塚 智一	伊藤 勤	梅津 長央	奥山 武司
相田 和俊	飯塚 陽子	伊東 俊行	梅山 俊行	小倉 康好
青木 威	飯村 行雄	伊藤 博	浦浜 清治	小澤 義行
青木 剛	家常 高	伊藤 節	海野 忠	小田 義登
青木 高男	五十嵐 秀夫	伊藤 政美	海野 良正	小高 絹子
青木 道子	生出 一三	伊藤 桃子	江口 寛通	落合 賢一
青木 明	池尾 保博	伊藤 雄二	江口 幸平	落合 文和
青田 雅雄	池田 崇	伊藤 喜芳	枝 弘道	小貫 貴宜
青砥 茂	池田 典彦	伊藤 良三	榎並 誠	小沼 俊秀
青山 正宏	池田 憲男	伊藤 俊行	榎本 安希	小野 雅志
赤垣 由美	池田 晴彦	糸原 俊行	江端 哲	小原 大策
明石 一雄	池谷 智明	稲垣 淳代	海老原 清	表 敏夫
赤繁 清生	池永 晃亘	稲葉 哲夫	遠藤 直紀	織笠 秀治
阿木 孝行	石井 麻衣	井野 幸史朗	及川 義次	甲斐 幸雄
秋国 忠則	石井 道仁	井上 千秋	扇田 京二	加固 豊春
秋武 達也	石浦 薫	井上 春吉	大石 芳江	柿田 武
秋元 篤司	石川 暢光	井上 英人	大石 瑞絵	角田 匡
秋本 潤	石川 幸男	井上 貢	大江 卯吉	加倉井 友子
穉山 隆貞	石川 洋三	井上 要作	大神 儀一	掛札 信子
阿久根 優子	石黒 洽一	井口 家成	大桑 秀夫	笠原 敦子
赤穂 徹雄	石崎 栄一	井口 憲一郎	大溪 康行	笠原 由子
浅井 晃	石塚 源造	猪股 修	大古 康行	笠間 龍郎
浅井 正見	石田 良則	猪俣 弘平	大澤 由雄	加治 攻一郎
浅香 光宏	石鍋 諭	今井 潤一	大島 英文	鍛冶 宏美
浅野 飛鳥	石橋 大揮	今井 光正	大島 実	櫻村 好則
朝比奈 均	石橋 優一	今泉 真理子	大島 昌彦	梶山 滋男
安達 清	石原 哲男	今福 茂明	大城 吉勝	柏崎 富治
厚綿 守	石原 利春	岩井 薫	大城 洋子	梶原 司
穴澤 徹	伊嶋 正之	岩井 幸夫	太田 和夫	梶原 康男
阿部 勝雄	石丸 晶	岩澤 清衛	太田 茂	春日 宏
安部 信久枝	和泉 惣市	岩瀬 悦子	太田 達郎	片岡 実
阿部 晴夫	泉沢 貞弘	岩出 和幸	太田 宏和	片岡 孝司
阿部 守	磯 道	岩永 理	太田 寛人	片岡 龍之
阿部 利生	磯海 利三	岩瀨 正之	大高 安弘	片岡 孝一
天谷 信忠	磯下 吉治	上赤 正文	大内 善一	片庭 文彦
網倉 菊水	磯崎 敏男	植木 清志	大塚 忠男	片野 誠一
新井 智之	磯田 彩	上田 喜代治	大月 三郎	片野 隆司
新井 正彦	磯部 誠祐	上野 勝巳	大野 尚子	片山 哲郎
荒益 正之	磯目 好三	上野 達弥	大野 正雄	香月 清
新垣 進	井田 広幸	上野 勇太	大橋 克礼	加藤 勲
荒川 正昭	板橋 勝	上原 久利	大湊 哲夫	加藤 恵美
荒川 光男	市川 泰士	宇佐美 宏	大村 勝男	加藤 啓次
荒山 正一	市川 秀明	氏家 憲治	大村 千春	加藤 進
有元 安裕	市村 治	牛嶋 修三	大森 義明	加藤 東
粟井 正子	怡土 好夫	白井 伸一	大矢 寛	加藤 秀之
安斉 友國	井手 正裕	内山 隆	岡 一義	角倉 信武
安藤 博	伊藤 伊勢次	宇都 秀一郎	岡 利行	科内 章平
飯窪 巧	伊藤 英臣	宇土 正浩	小笠原 一生	金澤 裕
飯島 好三	伊藤 喜章	宇留嶋 美奈	岡島 公彦	金子 英明
飯田 常之	伊藤 吉忠	宇野 英一	尾形 俊雄	金子 晃治
		梅島 悠	岡田 稔	金子 次郎
			岡部 一郎	金子 慎一郎
			岡本 博人	金子 千津子
			小川 隆司	金子 哲明
			小川 広美	金子 弘幸
			尾川 富士子	加納 昭子
			小川 文雄	加納 勝利
			小川 雅人	鍋木 哲男

鎌田 芳照	北村 高公	小池 靖雄	濟藤 満	市坪 英俊
鎌田 康	衣笠 史夫	小磯 啓一	齊藤 義昭	篠崎 保
神長 庸博	木下 貴雄	小出 次郎	西丸 和彦	篠原 高広
亀島 幸夫	木下 幸一	高江洲 一宏	三枝 謙二	柴田 光雄
亀山 巖	木下 洋	古宇田 敏行	嵯峨 修治	渋川 素子
加茂 睦和	崎浜 吉秀	河野 祥男	酒井 英明	清水 孝夫
加茂野 耕太郎	木原 一郎	河野 博一	酒井 睦子	清水 努
唐崎 晴子	木村 カズ子	河野 正勝	酒井 義昭	志村 理明
狩谷 淳	木村 恭将	甲藤 洋一	境田 重正	下川 正志
苅部 弘達	木村 猛	高木 透	榊 實	下畑 昌樹
川浦 謙介	木村 哲嗣	高木 敏夫	坂口 秀樹	下平尾 勲
川上 吉夫	木村 友昭	高木 秀昭	坂倉 敏夫	下村 耕司
河北 久	木村 友和	高木 芳夫	阪田 清治	宗内 匡志
川口 博行	喜安 眞澄	高野 秀樹	坂野 英	祝田 光子
川口 充律	木藪 俊政	古堅 肇	坂本 公勇	徐 企劔
川口 義雄	京増 繁	小久保 光祥	坂本 敏宏	商 増智
川崎 潔	清田 芳弘	小坂 芳治	坂本 直樹	正垣 豊
川崎 進	清水川 恵祐	小塩 栄一	坂本 亮	庄司 勇
川島 慎一	生頼 邦夫	児玉 勝美	桜井 栄吉	城内 武男
川島 岑生	金 重輝	後藤 一邦	櫻井 憲美	升山 義弘
川瀬 雄治	日下 慧	後藤 聖二	櫻井 克規	埜口 満弥
河地 辰彦	日下部 学	後藤 宏幸	櫻井 克紀	白木 一五郎
河内 みよ	草間 則夫	小西 登	櫻井 克信	白井 章
川畑 清作	楠 正亮	小林 一光	桜山 賢一	白石 欣也
川邊 幸雄	楠瀬 賢三	小林 克治	佐古 和彦	白石 好
川俣 友人	葉袋 佳英	小林 勝吉	笹川 信一	白江 與六郎
河村 孝春	工藤 孝文	小林 儀	佐々木 茂文	白田 利男
河村 保	工藤 稔	小林 賢一	佐々木 実	進 昭紘
川村 誠	工藤 友紀子	小林 克成	佐々木 裕二	進 かおり
川本 健一	國枝 雄一	小林 孝仁	佐々木 由尋	新藤 健吉
菅 三津子	国東 雍郎	小林 忠	笹本 芳廣	神野 典久
神崎 健次	国末 吉夫	小林 正男	佐藤 英章	真保 厚
神田 士	久保 和也	小林 義男	佐藤 香奈子	神保 政美
神田 伸正	窪 三郎	駒井 知礼	佐藤 幸一	未永 和勇
神田 正博	久保 晋	小松 正俊	佐藤 公明	未延 博
環野 健二	窪 久男	小松崎 清衛	佐藤 茂	菅沼 久
菅野 光男	久保木 栄子	小松原 実	佐藤 七郎	菅谷 邦義
菅原 哲夫	熊谷 慶治	小南 博昭	佐藤 昭一	菅家 和英
菊池 貞雄	熊谷 勉	小村 精一	佐藤 清一	菅原 秀雄
菊池 茂守	糸川 昌巳	小茂田 恵	佐藤 隆信	杉浦 和裕
菊池 恂	久門 好行	小柳 真仁	佐藤 達男	杉本 耕二
菊池 律之	倉持 忠男	是久 和夫	佐藤 千春	杉本 俊夫
喜久里 真男	倉持 守	嶽間沢 昌和	佐藤 敏正	杉森 公一
岸 元	蔵本 恭平	権丈 和彦	佐藤 博	杉山 和宏
岸田 實	栗田 経行	近藤 博昭	佐藤 秀昭	杉山 忠作
岸田 力	栗林 茂	近藤 真紀子	佐藤 昌之	杉山 哲男
木住野 誠一郎	栗原 孝行	近藤 康博	佐藤 猷信	杉山 弘
来田 光雄	栗原 正直	金野 正敬	佐藤 洋一	杉山 文彦
北川 康博	栗原 四郎	紺野 忠義	佐藤 良雄	杉山 和徹
北川 義明	栗原 崇	細田 道明	佐野 末三	鈴木 章夫
北川 怜美	栗原 太二	斉藤 英一	佐野 昌宏	鈴木 和夫
北崎 俊行	栗本 雅司	斉藤 賢治	沢田 秀男	鈴木 啓二郎
北爪 浩三	黒岩 邦男	斉藤 浩二	佐原 達夫	鈴木 俊世
北爪 達也	黒岩 泰男	齋藤 壽子	椎野 萬里子	鈴木 貴久
木谷 倫子	黒崎 泰夫	齋藤 清也	塩入 清	鈴木 敏夫
北野 喜晴	黒澤 清香	齋藤 隆夫	塩澤 和夫	鈴木 利治
北野澤 吉祥	黒津 和雄	西藤 高志	鹿毛 豪藏	鈴木 福司
北村 建治	小池 英巳	齋藤 正男	仕黒 正敏	鈴木 正夫
北村 哲	小池 敏夫	齋藤 正信	信太 房子	鈴木 松子

鈴木 美奈子	竹内 信紀	辻村 俊策	中西 經男	野村 春美
鈴木 康博	竹下 徹	辻本 清	中野 和弘	野村 光広
鈴木 裕一	竹花 正夫	津田 司	永野 重光	乗松 健生
鈴木 由夫	武政 和雄	津田 晴生	中野 多美子	箱守 徳寿
鈴木 和壽	竹村 賢太郎	鶴見 信夫	中原 博昭	橋田 省互
鈴野 豊	田島 充治	手島 薫	中俣 孝	橋爪 悦
須田 重雄	田尻 祐紀子	寺尾 藤則	中村 一貫	橋本 和博
須田 直之	蓼沼 明	寺崎 敏彦	中村 佳史	橋本 貞夫
須藤 茂	立野 たか	寺田 弘	中村 宜照	橋本 誠治
須藤 法一	田名網 春夫	照沼 繁	中村 義富	橋本 泰敏
橋木 賢一	田中 勝	土井 孝善	中村 賢太	橋本 幸雄
関 正典	田中 慶次	土井 純次	中村 剛之介	櫛 治
関口 慶雄	田中 源一	土井 勉	中村 勉	長谷川 親義
関口 博道	田中 好一	塘 久夫	中村 哲夫	長谷川 光一
関根 朝次	田中 佐二郎	東條 義喜	中村 博文	長谷川 直樹
関谷 進	田中 治宏	富樫 昌太	中村 正文	長谷川 正己
関谷 美幸	田中 次郎	徳永 真弓	中村 芳弘	長谷川 康広
瀬古沢 由彦	田中 征太郎	徳永 航	中山 比登志	長谷川 義治
瀬谷 寿一	田中 孝司	利行 俊一	中山 博司	畑 寿太郎
瀬山 淳	田中 千夏	戸田 耕太郎	中山 文	畑 俊輔
世良 京平	田中 信博	戸谷 芳一	夏目 長生	畑谷 芳夫
千石 邦男	田中 昇	戸塚 和行	鍋倉 晃	花岡 美智子
荘 和憲	田中 英行	飛田 孝一	鳴本 政晴	花前 邦由
副島 秀夫	田中 保幸	外間 裕昭	成岡 茂	羽生 喜夫
曾我 尚子	田中 正敏	富田 和夫	成毛 仁	埴生 卓男
染谷 登志雄	田中 基義	富田 眞吾	成瀬 隆康	馬場 勉
染谷 憲明	田中 勇造	富田 敏文	荷川取 広一	浜田 裕司
大山 重則	田中 リナ	富田 雅之	西 英四郎	早川 進
平床 秀美	谷 明彦	富田 泰広	西 芳孝	早川 竹一
大平 邦雄	谷内 孝男	富浜 重雄	西 泰信	林 一雄
大木 博	谷川 佳睦	豊崎 利明	西岡 稔記	林 克巳
大木 肇	谷川 敬介	豊田 稔雄	西口 慎吾	林 国貴
高井 久義	谷口 修	虎見 敏雄	西田 文雄	林 功
高川 晴男	谷口 紀年	鳥海 孝夫	西館 昌巳	林 孝英
高島 邦光	谷口 信二	内藤 良二	西野 俊昭	林 聡子
高田 勝正	谷口 正則	永井 忠男	西野 昇蔵	林 清
高田 智也	谷口 紀明	永井 久之	西野 正人	林 猛
高田 守	谷口 康雄	永井 三喜男	西原 一男	林 常夫
高寺 好一	谷本 公明	中尾 麻由実	西巻 宏	林 照雄
高橋 喜八	谷本 静史	仲尾 修一	西村 壽一	林 敏雄
高橋 潔	田端 幸江	中尾 俊治	西村 力	林 博
高橋 純一	田原 貴子	中尾 登志雄	新田 昭夫	林 幸雄
高橋 晟	玉置 崇	長尾 元吉	二宮 和善	早濑 忍
高橋 隆志	田丸 源作	長岡 正幸	二村 道雄	原 満
高橋 徹	田村 和則	中垣 光弘	丹羽 光政	原崎 重孝
高橋 博	田村 邦彦	中川 幹夫	沼口 親之	原田 慎二
高橋 久松	田村 光明	中川 裕子	沼倉 祐子	春田 正義
高橋 秀夫	田村 尚巳	中込 賢二	根本 一彌	春田 友則
高橋 宏	田村 豊嗣	永里 豊	根本 健治	春山 国広
高橋 正美	知念 清史	長澤 和男	根本 晴枝	半田 啓二
高橋 光男	千葉 洋	長島 郁雄	根本 康弘	半田 博
高橋 睦史	千葉 良隆	長島 邦夫	根本 祐一	日影 孝志
高橋 雪夫	長 たまき	中島 正昭	野口 和哉	東浦 康友
高橋 龍男	塚田 信一郎	中嶋 隆一	野口 隆敏	氷川 真優美
高松 由紀子	塚本 甚一	中城 秀一	野崎 良一	久原 硬
高谷 眞利	佃 正明	中田 薫	野田 英文	久富 慶吾
田口 多恵	佃 良彦	仲田 謙太郎	野出木 武	土方 金慶
武石 肇	辻 裕幸	中谷 英樹	野村 樹宏	菱沼 知仁
竹内 一男	対馬 光雄	中谷 正博	野村 純彦	人見 章

日比野 彰	不破 功二郎	的場 正剛	森 良仁	山仲 英克
平井 誠	朴 淑海	愛沢 信雄	森岡 富三	山貫 克郎
平石 善保	保坂 昭憲	丸山 篤	森口 史郎	山本 亜希子
平尾 謙児	保坂 純夫	丸山 哲	森島 正樹	山本 興四郎
平野 修身	星野 勝	丸山 正次	森田 三郎	山本 進
平林 伸一	星野 恒光	丸山 進	森田 外博	山本 仁士
平林 正之	星野 正美	丸山 清一	守田 勉	山本 智恵子
平光 修治	星野 幸男	丸山 泰	森田 三穂	山本 徳義
平本 善丸	細川 孝行	三池 正弘	森藤 忠夫	山本 文也
平本 真介	細川 義明	三浦 英人	森本 公三	山本 良樹
平谷 久光	帆足 まおり	三浦 未来	諸橋 利治	結城 由行
弘津 春生	帆足 みゆき	三上 隆三	八木 晃	弓削 武美
広瀬 充	堀田 肇	三木 伸二	矢口 幸夫	油谷 俊治
廣田 龍也	堀 英世	水島 次治	矢島 義夫	由良 範泰
広田 敏明	堀越 勇介	水野 栄徳	安 占東	横田 貞也
廣田 行夫	堀本 佳彦	水野 浩次	安田 重規	横田 朋子
廣田 豊	本城 克之	水野 光国	安田 寿朗	横峯 徹
舛井 松雄	本田 平八郎	水野 芳雄	八十田 良晴	横山 和弘
深江 陽子	本間 誠一	水野 亮二	矢田 智紀	横山 靖正
深澤 弘	前川 俊朗	水野 潤太郎	矢田 茂樹	吉井 新二
深瀬 久雄	前田 孝	道山 雅也	谷田部 桂介	吉井 元
深川 節男	前田 幸利	三ツ井 清吉	柳澤 勉	吉岡 孝修
福井 光次郎	前森 淳	三原 康正	柳澤 邦興	吉川 信政
福江 正博	牧 徹	宮内 理	柳田 直美	吉田 晃
福川 博文	牧口 一男	宮川 猛	矢野 小一郎	吉田 和司
福島 克二	横田 順二	宮城 啓子	矢野 孝行	吉田 直
福田 太仁夫	牧野 惠一	宮城 恒雄	矢野 陽子	吉田 敏昭
福富 清	牧野 実史	三宅 忠勝	山内 正三郎	吉田 俊雄
福本 和生	正岡 博	宮坂 光信	山形 辰美	吉田 友里
福本 茶伯夫	増澤 勝大	宮崎 洋一	山形 一	吉田 弘子
藤 敏子	増田 尚三	宮里 憲幸	山岸 邦夫	吉田 康則
藤井 繁市	増田 清	宮島 正行	山岸 仁	吉田 三千年
藤井 證	増田 浩樹	都竹 昭雄	山口 烈	吉本 進次
藤井 哲夫	榎野 知幸	宮本 茂	山口 清	依田 一久
藤井 俊行	増淵 政美	宮本 二郎	山口 忠夫	與那覇 政達
藤岡 伸昭	増淵 茂泰	宮本 村雄	山口 陽子	米沢 直哉
藤倉 恒夫	町川 壽一	宮本 千瑞	山越 隆男	米沢 富士雄
藤崎 忠司	町田 三郎	宮本 剛	山崎 照光	羅 奇祥
藤崎 英信	松岡 三治	向野 宣之	山崎 市郎	若松 幸一
藤澤 直毅	松川 春一	棕開地 省二	山崎 修	若森 勝美
藤田 悦子	松崎 克俊	宗元 景富	山崎 和茂	脇 一文
藤田 哲也	松崎 日出男	村井 村治	山崎 健一	脇田 正博
藤田 秀男	松下 哲士	村岡 侖衛	山崎 正数	涌井 久司
藤田 光久	松下 光宏	村上 敬	山路 真幸	和田 和紀
藤野 満	松島 康彦	村木 広栄	山下 和司	和田 謙一
藤本 邦夫	松田 治	村木 良久	山下 照人	和田 秀敏
藤本 照代	松田 滋	村田 一雄	山下 正敏	渡辺 和夫
藤本 豊	松田 進	村田 直史	山下 泰	渡邊 孝一
藤森 正男	松永 國雄	村田 宣彦	山科 登	渡辺 秀一
藤山 孝夫	松林 知一	村田 秀雄	山城 清美	渡辺 穰治
藤原 茂義	松原 国高	村知 邦雄	山瀬 晟	渡部 将顕
部田 和彦	松原 謙一	村主 守	山田 勝久	渡辺 信太郎
二神 瑞晋	松原 正樹	村山 寛	山田 甲子代	渡部 毅
舟橋 宏枝	松広 和彦	茂木 悦雄	山田 宗良	渡辺 時男
撫尾 知信	松村 嘉孝	茂木 豊	山田 武史	渡辺 正子
古川 好伸	松村 邦夫	持丸 華子	山田 政男	渡部 裕司
古川 康宏	松本 清志	本福 武光	山田 泰章	
古畑 康史	松本 博	森 彩香	山田 康博	
古屋 寿	松家 大樹	森 進也	山田 幸隆	

紫峰会[筑波大学学生後援会]協賛

筑波大学開学 30 周年記念第 29 回筑波大学学園祭

# そ う ほ う さ い 雙 峰 祭

plus ultra! ~さらに向こうへ~

10月11日(土)~13日(祝)開催!

こんにちは、筑波大学学園祭実行委員会です。現在一般企画団体の受付が終了し、いよいよ全学で学園祭に向けた準備が始まりました。本年度より、

図書館情報専門学群と看護・医療科学類も加わり、雙峰祭は今まで以上の盛り上がりを見せることでしょう。さて、今年のテーマは“ plus ultra!

## 2003東西インカレバレーボール 男子王座決定戦inつくば

7月12日(土)-13日(日)  
つくばカピオにて 入場無料



全日本インカレに先駆けて、東日本インカレの勝者と西日本インカレの上位校が激突します。今回の東西インカレは、筑波大学男女バレーボール部・医学バレーボール部をはじめ、筑波大学のバレーボール関係者が総力をあげて企画・運営にあたっています。地元つくば市もバックアップし、オープニングセレモニーでは、地元小学校のマーチングバンドによる演奏やつくば郷土芸能・情報3年の披露や平成17年開業予定の「つくばエクスプレス」の紹介など、つくばを上げての一大イベントです。

7月12日  
予選試合(12:20~)東日本2位VS東日本3位  
準決勝第1試合(14:20~)東日本1位VS西日本2位  
準決勝第2試合(16:40~)西日本1位VS予選試合勝者

7月13日  
三位決定戦(12:20~)準決勝敗者VS準決勝敗者  
優勝決定戦(14:40~)準決勝勝者VS準決勝勝者

Tel: 029-853-2763 Mail: t-united@volleyball.taiiku.tsukuba.ac.jp

## 筑波大学管弦楽団 第54回定期演奏会

東京公演

10 / 18 (土) 19時開演東京芸術劇場大ホール  
つくば公演

10 / 26 (日) 14時開演ノバホール

指揮 小田野 宏之

曲目

サン＝サーンス 交響曲第3番八短調作品78

バルトーク 舞踏組曲

モーツァルト 歌劇 魔笛 序曲K.620

お問い合わせ 広報担当; 平山

090-3656-0300yocchi\_n02@yahoo.co.jp

団員一同、日々の練習により一層力を入れて取り組んでおります。皆様のお越しをお待ちしております。

~さらに向こうへ~”です。ラテン語に由来するこの言葉には、「今よりさらに高めていこう」という気持ちが込められています。学園祭実行委員会では、雙峰祭のますますの発展を目指して活動中です。

様々な企画は詳細が決まり次第HPなどを通して随時お知らせしておりますので、是非ご覧ください。多くの方々のご来場をお待ちしております。

【お問い合わせ】

筑波大学学園祭実行委員会

TEL/FAX 029-853-2899

info@sohosai.com

http://www.sohosai.com

紫峰会後援 第5回伝統文化サークル合同企画

# 天上大風

~ 咲 け ! 伝 統 の 華 ~

9月23日(祝)

開場12:45

開演13:00(雨天中止)

筑波大学開学記念館にて 入場無料

(地図は紫峰会HPをご覧ください)

【舞台・実演】

能・狂言 13:00 ~ ・ 15:55 ~

和太鼓 13:20 ~ ・ 16:35 ~

歌留多実演 13:40 ~

邦楽演奏 14:15 ~ ・ 16:15 ~

焼き物実演 14:35 ~

津軽三味線演奏 15:15 ~

フィナーレ 16:55 ~

【展 示】

華 道

書 道

焼き物

【茶 会】

茶道のお点前

(お茶席300円)

つくば鳥人間の会

## 鳥人間コンテスト選手権大会出場決定

日時 7/27(日) 6:00 フライト開始(順序未定)

場所 琵琶湖東岸(滋賀県彦根市松原水泳場)

放送 9/9(火)読売~日本テレビ系、放送予定  
(変更となる場合があります)

問合せ 090-3619-1046 前田 槇市

私たちつくば鳥人間の会は筑波大学・図書館情報大学の学生、OBや地域の方々など様々な人々が参加し、年に一度のコンテストに向けて日々努力をしています。昨年は人力プロペラ機部門にて921.06mを記録、第4位に入賞しました。今年は優勝目指し、8ヶ月もの間(設計から数えると約1年間)一生懸命準備してきました。我々の夢が琵琶湖に舞う姿をどうぞご覧ください。